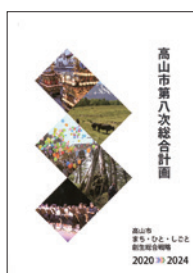


第八次総合計画の着実な推進



問 第八次総合計画の着実な推進とありながら、工期変更だけでも26事業、後期計画分で53億円が変更と言われている。令和3年度だけでも9億円が変更となる。このような計画変更に至った理由は。

答 令和2年度は後期計画の初年度であるが、コロナ禍、災害等により計画の段取り、相手方との調整や協議もはかどらなかった現状を踏まえ、予算編成に合わせ、実施計画の各事業について見直しを行った。新年度はスケジュールの影響が最小限となるよう精力的に取り組んでいきたい。

第3子以降に対する子育て支援金の減額

問 第3子以降に対する子育て支援金を20万円から10万円に減額した背景は。

答 子育て支援金は出産祝い金的な意味も含めて支給しており、第3子には上乘せして支給してきた。児童福祉政策自体は子どもたちの健やかな育ちを保障、環境を整備していくところが大きな目的である。第3子以降の出生数の増加へのインセンティブ効果も期待して事業を実施してきたが、コロナ禍による厳しい財政状況や事業効果の検証、子育て支援策全体の状況を踏まえ、総合的に判断し見直しに至った。



Uターン就職支援金の廃止



問 Uターン就職支援金がUターン就職のきっかけとなる効果が小さいという説明であったが、Uターンにより様々な経費が必要であり、助成があつて助かったという方もいる。毎年150人から160人の方が利用しており、いきなりカットしてしまうのはどうなのか。

答 支援金の目的は、これがUターンのきっかけとなっているか、大きなポイントだと思っている。また、Uターンのみならず、I・Jターンされる方もいる。そういった方との均衡などの面も含め総合的に判断した。

観光誘客推進事業補助金

問 観光誘客誘致推進事業補助金は、WEB事業、メディア事業とある。観光においてはコロナ禍で観光誘客が難しい状況であり、様々な事業をゼロベースで見直す中、慣例的に1億円の補助金を出すことについてはどうか。

答 この補助金の原資である入湯税の使途は観光振興に特化すべきという御意見をいただき入湯税1億円を充てている。使い方については市も助言しているが、ウィズコロナ、アフターコロナの両面への対応など、団体が工夫しながら時勢に合った事業を実施していただけるようお願いしていく。

